

# 「もんじゅ」サイトに新たに設置する試験研究炉について

## 第4回コンソーシアム会合の開催について

2025年3月17日、第4回目となるコンソーシアム会合を若狭湾エネルギー研究センターで開催しました。

会合では、原子力機構から2024年度に実施した新試験研究炉原子炉施設の設計状況や原子炉設置許可申請に必要なデータ取得を目的とした地質調査(図1)及び2024年10月に国土地理院が公表した「推定活断層」に対し、今後の調査に向けた検討状況について報告しました。また、京都大学からは、同研究炉実験装置の検討状況や将来に向けた取り組み状況について、福井大学からは人材育成に関する活動状況などが報告されました。

今後もコンソーシアム会合を開催し、活動状況について報告するとともに、出席委員(学术界、産業界、地元関係機関)の皆さまをはじめ、様々なご意見をいただきながら検討を進めてまいります。



会合の様子

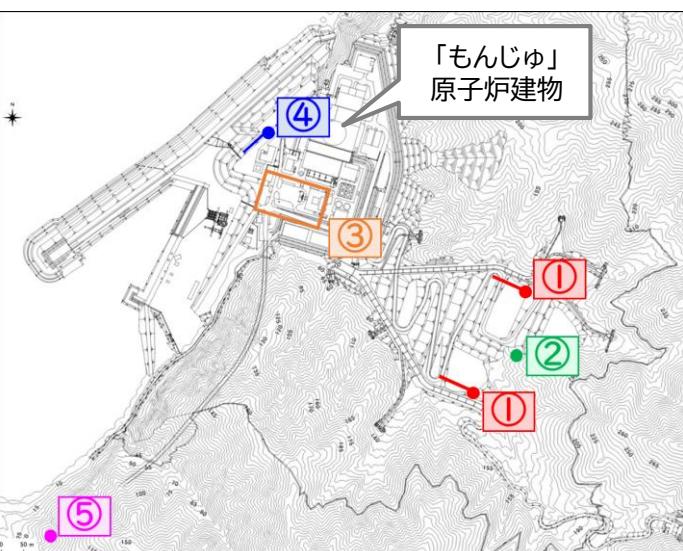


図1 2024年度地質調査

- ① 候補地AおよびA'周辺:斜めボーリング調査(2本)
- ② 候補地A'周辺:鉛直ボーリング調査(1本)
- ③ 候補地B周辺:物理探査
- ④ f破碎帯の南方延長部確認:斜めボーリング調査(1本)
- ⑤ 白木・丹生断層の走向・傾斜データの取得:鉛直ボーリング調査(1本)

### ●本資料に関するお問合せ先●

発行：2025年3月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 地域共生・広報課

〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20

【TEL】0770-21-5026 【FAX】0770-21-2045

原子力機構ホームページ：<https://www.jaea.go.jp>

敦賀事業本部ホームページ：<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/>



「敦賀事業本部からのお知らせ」のページはこちら



## 原子力機構 敦賀事業本部からのお知らせ

### 地域の皆さまへ

日頃より当機構の廃止措置事業に対し、ご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度を振り返りますと、「ふげん」では、原子炉周辺機器の解体作業が進み、また、「もんじゅ」では、一時中断していたしゃへい体等の取出し作業を昨年10月に再開いたしました。また、「ふげん」「もんじゅ」共に、廃止措置計画の変更認可申請を行い、廃止措置の次のステップに向け、歩みを進めることができました。

一方、「新試験研究炉」は、国土地理院による「もんじゅ」敷地内における推定活断層の公開を受け、原子炉設置許可申請見込み時期等の公表延期をすることとなりました。

来年度についても、「ふげん」、「もんじゅ」の廃止措置を安全最優先で進めてまいりますと共に、「新試験研究炉」については、できる限り早く、設置許可申請見込み時期等を公表できるよう、取り組んでまいります。

今後とも、地域の発展に貢献し、地元の皆様からのご理解を賜ることができますよう、敦賀地区での業務を安全第一に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



敦賀事業本部長代理  
(理事)

近東 正明

### 就任のご挨拶

私鈴木は、敦賀に住んで、働き35年になります。その間、「もんじゅ」の性能確認、運転管理、安全評価などに関わり、現在は廃止措置に取り組んでおります。

「もんじゅ」では、2018年度から廃止措置を開始し、原子炉等から核燃料を取り出して燃料池に保管しました。続いて2023年度より、しゃへい体等の取り出しと蒸気タービン等の解体撤去を開始し現在継続中です。今後は、冷却材ナトリウムの抜出・搬出、ナトリウム機器の解体準備を進める予定です。

安全を第一と考え、職員が一丸となって廃止措置を進めてまいります。地域の皆様のご厚情に感謝致しますとともに、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



高速増殖原型炉  
もんじゅ 所長  
鈴木 隆之



# 高速増殖原型炉もんじゅ

## 廃止措置の状況について

廃止措置計画の第2段階として、2023年7月からタービン建物（非管理区域）3階以下に設置されているタービン発電機、復水器、給水加熱器等の解体撤去を順次進めています。2024年度はその内、主にタービン発電機（高圧・低圧タービン）や復水器の解体撤去を計画通り実施しました。

タービン発電機（高圧・低圧タービン）の解体撤去

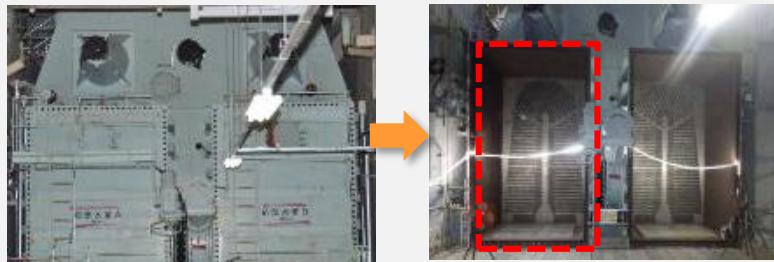


解体撤去前



解体撤去後

復水器の解体撤去



復水器（前部水室開放前）

復水器（前部水室開放後）



復水器細管抜出作業

## 廃止措置計画等変更認可について

2024年10月11日に「もんじゅ」廃止措置計画の第2段階に実施する具体的な作業（①～④）を反映するため、原子力規制委員会へ申請を行った廃止措置変更認可について、審査への対応を経て、2025年3月18日に認可を受けました。

- ①非放射性ナトリウムの搬出方法
- ②2次メンテナンス冷却系（非管理区域の解体撤去）
- ③ディーゼル発電機C号機解体撤去
- ④燃料池の強制冷却不要に伴う冷却に係る機能の除外

敦賀地区の事業の実施にあたっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解をいただきながら進めてまいります。



# 新型転換炉原型炉ふげん

## 廃止措置の状況について

廃止措置計画の第2段階として、原子炉周辺設備の解体撤去を順次進めています。2024年度は原子炉上部の配管の解体撤去等を実施し、原子炉建屋（地上6階）の5階・6階に配置された機器の解体撤去が計画通り終了しました。また、2024年度末からは大型機器のひとつである原子炉再循環ポンプの解体撤去にも着手します。



原子炉上部中央部配管（解体撤去前）



配管切断の様子



原子炉上部中央部（解体撤去後）

## 廃止措置計画等変更認可について

2024年10月3日、廃止措置の段階に応じた必要な電力量に見合う小型の空冷式ディーゼル発電機の仕様や必要電力量の評価等を追加するため、原子力規制委員会へ申請を行った廃止措置変更認可について、審査への対応を経て、2025年2月28日に認可を受けました。新設する予備電源装置は2025年度第2四半期頃から据え付けを開始し、第4四半期から供用開始の予定です。

## クリアランス確認申請について

タービン建屋の機器等の解体撤去作業により発生したクリアランス対象金属のうち、原子炉等規制法に基づき、測定及び評価を行った約95トンの放射能濃度の第7回確認申請を2025年3月10日に原子力規制委員会へ行いました。引き続き、クリアランス制度の理解促進、社会への定着に向け、取り組んでまいります。



クリアランス測定の様子

認可を受けたクリアランス測定対象金属(約1,100トン)

・確認証受領済:合計 約628トン

(2018年12月測定開始以後、6回分)

・7回目確認申請: 約95トン (2025年3月申請)



クリアランス金属再利用例 (サイクルスタンド)